

保育所の土曜午後保育など今後の対応は

財源、住民ニーズも勘案し総合的に検討していく

問

共働き家族が増える中、保育所の土曜午後保育の要望も多い。近隣市町などでも実践例が増えつつあるが町の考えは。

保健福祉部長

平成27年年度から5年間の支援策を盛り込んだ子育て支援計画を策定中だ。この中で保育所の行う延長保育や乳児保育、一時預かり事業などの保育サービスの必要量を見込み、その確保の方策について協議している。

例えば、延長保育する保育所や時間、乳児保育の実施の場合、生後何カ月から対応するとか、土曜午後保育、休日保育など住民のニーズ、財源なども勘案して総合的に検討していく。

耕作放棄地の取り扱いや問題の解決法は

農業委員会の活動、人・農地プランの活用で

問

農地の所有者や耕作者の高齢化や後継者がいないために、耕作放棄地が増えている。環境や美観の問題だけでなく近隣住民の健康被害の声もある。問題の解決についての考えは。

町長

町内の耕作放棄地は17ヘクタールと県内では率的に低いが農業従事者の年齢は69・2歳と高齢化は進んでいる。農業を継続できない就農者に対して農業委員を通じて地域の担い手を探したり、年一回の農業パトロールの

実施で農地再生への改善を図っている。耕作放棄地が判明した時は農業委員会から耕作者に対する指導文書の送付、適正管理のお願いをしている。また人・農地プランを活用して農地集積及び意欲のある新規就農者の育成に努めている。



農業委員会と地域の力でこのように

